

令和7年度（2025年度）
実績報告書

1. 申請者の概要

団体名	大阪府商工会連合会
代表者職・氏名	会長 上村 一彦
所在地	〒540-0029 大阪市中央区本町橋2-5 マイドームおおさか6階
設立年月日	昭和36年10月17日
職員数	17
うち経営指導員数	17
所管地域	大阪府内全域
管内事業所数	384,332 (令和3年経済センサス-活動調査)
うち小規模事業者数	245,842 (令和3年経済センサス-活動調査)
会員数	16
組織率	100.0%
担当者職・氏名	事務局長 元木 一典
連絡先電話番号	06-6947-4340
連絡先メールアドレス	shokoren@osaka-sci.or.jp
主な事業概要（定款記載事項等）	
本商工会連合会は、地域（大阪府）内における商工会の健全な発達を図り、もって商工業の振興に寄与することを目的とする。この目的を達成するため、次に掲げる事業を行う。 (1) 商工会の組織又は事業について指導又は連絡を行うこと。 (2) 商工業に関する専門的事項について相談に応じ、又は指導を行うこと。 (3) 商工業に関する情報又は資料を収集し、及び提供すること。 (4) 商工業に関する調査研究を行うこと。 (5) 展示会、共進会等を開催し、又はこれらの開催のあっせんを行うこと。 (6) 商工業に関する技術又は技能の普及又は検定を行うこと。 (7) 商工貯蓄共済事業を行うこと。 (8) 関係団体との提携又は連絡を行うこと。 (9) 商工会の意見を総合してこれを発表し、又は国会・行政庁等に具申し、若しくは建議すること。 (10) 行政庁等の諮問に応じて答申すること。 (11) 前各号に掲げるもののほか、本連合会の目的を達成するために必要な事業を行うこと。	

(1) 所管地域の産業経済の現状と課題

現在、府内中小・小規模事業者の多くは、原材料の高騰、社会保険の適用範囲の拡大や最低賃金の上昇による経営コストの増大、事業主の高齢化に伴う事業承継等の問題を抱えている。

このため、事業者は経営課題への対応は勿論のこと、新たな事業の取り組み、健全な発展のための事業計画の作成、経営情報の収集、販路開拓等の取り組みが不可欠であり、またそれらに対しての支援を必要としている。

令和7年はいよいよ大阪・関西万博が開催されることから、万博需要による経済的なチャンスを如何に取り込むかが課題となる。

また、府内事業者の開廃業率については開業に対し廃業が高いことから、創業機運を醸成し、かつ既存の事業者の廃業を減らすためには、事業者の経営問題の解決や持続的発展のための支援を継続しなければならない。

そのため、商工会等の支援団体は、基本的な経営相談から複雑化・多様化する経営課題への幅広い対応が必要となり、このことは経営指導員に対し、より高度な知識や問題解決能力を求めることとなっている。しかしながら、各商工会等の支援機関は慢性的な人材不足に陥っているため、複数の支援団体の連携により業務の効率化を推進することで支援体制の充実を図る必要がある。

(2) 所管地域の活性化の方向性（事業の目標）

地域の小規模事業者の経営を支援するため、大阪府内各商工会等と連携し、地域経済活力向上のための事業（次代を担う若手経営者等の育成、女性経営者等による地域リーダー養成の各事業）を実施する。また、大阪府の支援施策との連携による経営力向上事業（創業支援、事業継続計画(BCP)策定支援、経営トピックセミナー配信、万博景気を取り込むための地域資源販路開拓支援、事業者の経営資産の適正な把握を行い得られた結果を活用した事業計画策定や事業承継への取組を行う地域事業者伴走型支援の各事業）を実施する。

さらに商工会等の支援団体が、小規模事業者の基本的な経営相談から複雑化・多様化する経営課題に対応するため、経営指導員に対し経営指導員研修および経営指導員OJT事業を実施する。加えて、商工会等の効率的な業務体制の構築を行うため、商工会等業務の共同処理を推進する。なお今年度は特に地域内事業者の事業承継に対応するため、商工会等の事業承継支援体制を向上を目的とした研修等の取組を実施する。

また、各商工会等と連携した地域課題解決によるビジネスチャンスの創出や地域社会と事業者との結びつきの強化に向けてCSR普及啓発事業、SB/CB創出支援事業を実施する。

(3) 事業を実施した効果

令和7年度も商工会と一体となり事業者の支援活動を実施し、地域企業が抱える経営上の悩みの解決や日々増加する経営課題に対応するための知識の普及など幅広い支援を実現できた。

専門家等による相談を実施し、人事労務や経理財務などで高度化・複雑化する経営問題を解決していくことで、小規模事業者の要望に応じた支援をすることができた。

さらに販路開拓や、災害時の事業継続計画策定支援など、小規模事業者等が必要とする支援を体系的に捉えて実施し、事業活動の強化及び地域の活性化に貢献した。

また、商工会の事業者支援機能を強化するための、広域的な共同処理を実施するための検討を行った。

(4) 事業を実施した結果浮かび上がった課題・次年度への取り組み

地域の人口や商工会毎の財政の事情などの理由により、事業活動に対する予算規模や経営指導員の数に差があり、それが商工会等の事業者支援能力にも差が生じることとなっている。

そこで、商工会等における経営指導員の個々のレベルアップを図るため、経営指導員研修の内容をブラッシュアップし、支援能力向上に直結した内容で実施する。

また、商工会の事業者支援能力の強化と平準化を目指すため、各商工会の定型業務について共同で処理することを検討し、試験的実施することにより業務の効率化・省力化を推進して行く。

また、大阪府内の事業者が府外の販路を開拓するための展示会への出展や各種セミナーを実施し、売上向上や継続的な事業への取組を支援する。

I経営相談支援事業

前年度支援企業数		375社				
支援メニュー		単位	当初計画	変更計画	実績	達成率
1	事業所カルテ・サービス提案	事業所	458	458	486	106.1%
2	支援機関等へのつなぎ	支援数	5	5	3	60.0%
3	金融支援（紹介型）	支援数	5	5	0	0.0%
4	金融支援（経営指導型）	支援数	10	10	0	0.0%
5	マル経融資等の返済条件緩和支援	事業所	2	2	0	0.0%
6	資金繰り計画作成支援	事業所	2	2	0	0.0%
7	記帳支援	事業所	257	257	315	122.6%
8	労務支援	支援数	172	172	221	128.5%
9	人材育成計画作成支援	事業所	0	0	2	-
10	マーケティング力向上支援	事業所	11	11	2	18.2%
11	販路開拓支援	支援数	5	5	13	260.0%
12	事業計画作成支援	支援数	13	13	1	7.7%
13	創業支援	事業所	22	22	1	4.5%
14	事業継続計画（BCP）作成支援	事業所	163	163	7	4.3%
15	コスト削減計画作成支援	事業所	81	81	130	160.5%
16	財務分析支援	事業所	12	12	2	16.7%
17	5S支援	事業所	26	26	4	15.4%
18	IT化支援	事業所	171	171	254	148.5%
19	債権保全計画作成支援	事業所	0	0	0	-
20	事業承継支援	事業所	4	4	0	0.0%
21	災害時対応支援	事業所	0	0	0	-
22	フォローアップ支援	事業所	2	2	0	0.0%
23	結果報告	事業所	458	458	486	106.1%

件数設定の根拠（今年度の特徴等）

前年度は、中小・小規模事業者における働き方改革関連や税制改革関連に対応するための相談が特徴的であった。また、安定的な事業実施のため、事業継続計画（BCP）や雇用維持のための相談・支援に注力した。今年度も引き続き「事業継続計画（BCP）策定支援」「記帳支援」「労務支援」等を重点的に支援するとともに、経済産業省や大阪府等の各施策や支援制度も広く活用し、事業者支援を実施していく。

支援のポイント・成果

・本事業推進にあたっては、各商工会や専門家、関係機関等との連携を強化し、事業者が直面するあらゆる相談に対応し得る体制を構築して、相談のワンストップ機能の強化に努めた。

【代表事例】

立ち椅子を制作・販売して間もない事業者に対し、大手競合との比較を踏まえ、ローカルベンチマークを活用した現状分析を行い、経営資源や市場環境を整理した。その結果、自社の強み・弱みが明確になり、製品の特徴や付加価値も整理された。さらに、ターゲットごとの訴求内容を見直すことで、価格設定の妥当性も確認でき、収益性向上に向けた土台づくりにつながった。

Ⅱ 専門相談支援事業

事業名		単位	当初計画	変更計画	実績	達成率
24	法務相談	日数	38	38	53	139.5%
25	税務相談	日数	15	15	21	140.0%
26	金融相談	日数	0	0	0	-
27	労務相談	日数	95	95	72	75.8%
28	その他相談	日数	208	208	210	101.0%

支援のポイント・成果

経営安定相談室を本会に設置し、経営の危機により倒産のおそれのある府内中小企業・小規模事業者を対象として、関係機関等と連携・協力しながら円滑に支援した。労務相談では、昨今の小規模事業者が新たな対応を余儀なくされる労働関連法の改正が多いことから、労使のトラブルにならないようにするため、募集・雇用・退職等の手続きについての相談に対応した。その他経営相談として、中小企業診断士による販路開拓を含む総合的な経営相談を実施し、事業者の問題解決に向けた支援を実施した。

大阪府商工会連合会

事業名		創業支援事業			事業番号	I	新規/継続	継続		
想定する実施期間		平成28	年度～	年度まで	10	年 目	※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること			
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか) 企業ニーズ (内容・把握方法等)	大阪府内の創業の促進を積極的に推進し、地域の盛り上げ、起業家の育成を目指す。 創業が気になっているが具体的にはどうしてよいかわからない者から、創業を考えている者、創業を目指す者、プチ起業や副業・兼業を考えている者までを広く対象とし、自身のアイデアを形づかせるようなセミナー、創業機運を醸成するようなセミナー、また創業に必要な知識や手続きを説明し、創業への道を明確にして働き方の一つとして検討してもらうことを目的とする。								
	支援する対象 (業種・事業所数等)	大阪府内において創業が気になっている者、創業を考えている者、副業・兼業を考えている者、新たな事業を立ち上げようとする大阪府内中小企業経営者、中小企業従業員、大学生等								
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	①創業キックオフセミナーの開催（業種編）【人材交流型】 日時：令和7年11月8日(土)14時～16時30分 令和8年2月21日（土）14時～16時30分 場所：クレオ大阪東、関西大学梅田キャンパス 参加者数：30名 会場を大阪市内で実施し、カフェという業種に絞った創業への啓発セミナーを開催した。カフェという特定の業種に絞り、同じ夢を持つ方たち同士で交流し、アイデアを具体的にしたり、よりブラッシュアップすることで新規アイデアを生み出すことに繋がった。講師にはカフェを立ち上げた現役店主を迎え、自身の創業時の体験談を話してもらう事で創業への意欲を喚起すると共に注意点を知ってもらった。自身の創業イメージを整理してもらい、地域の窓口となる商工会についても周知を行い、創業支援窓口として紹介した。 ②創業講座の開催（解説編）【人材交流型】 日時：令和7年11月29日(土)14時～16時 場所：アットビジネスセンター大阪心斎橋 参加者数：15名 会場を大阪市内で実施し、創業に必要な知識や手続きについて解説する創業セミナーを開催した。創業時に必要な具体的な手続きや、知的財産等のあまり知られていないが重要なことを知ってもらい、創業への意欲をより喚起した。またワークショップを通じて、参加者同士、講師との交流を深めてもらい、自身のイメージも具体的にしながらアイデアの発見につなげた自身の創業イメージを整理してもらい、地域の窓口となる商工会についても周知を行い、創業支援窓口として紹介した。 ③【ハンズオン型】 日時：令和8年1月17日（土）9時～12時 場所：アットビジネスセンター大阪心斎橋 参加者数：3名 セミナーで整理した創業プランのブラッシュアップや、習得した知識をさらに深めることを中心とした個別ハンズオンを実施した。専門家の助言のもと、各々の創業プランを固めることができ、要望に応じて引き続き支援を実施する。 ＜事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載＞ ①府施策連携 創業取組者を増やし、商工会で実施される創業セミナーに参加を促した。引き続き創業希望者へ継続的な支援を実施する。 ②広域連携 ③市町村連携 事業実施に係り、創業支援事業計画に参画している市町村等と広報等で連携した。 ④相談相乗 受講後も伴走して現状や課題を把握することで、相談事業につなげ事業所支援を実施した。								
		①府施策連携	創業取組者を増やし、商工会で実施される創業セミナーに参加を促した。引き続き創業希望者へ継続的な支援を実施する。							
		②広域連携								
③市町村連携		事業実施に係り、創業支援事業計画に参画している市町村等と広報等で連携した。								
④相談相乗	受講後も伴走して現状や課題を把握することで、相談事業につなげ事業所支援を実施した。									
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	53.0	総支援企業数(実績)	48.0	支援実績率	90.6%	満足率	95.8%	
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	代表指標	創業コンセプトが決定した創業希望者数							
		数値目標	3者		実績数値	3者		目標達成度	100.0%	
	成果の代表事例	福祉関係に従事されている方が、就労継続支援B型を開きたいと相談を受けた。思いやターゲットを聞き出していく中、潜在的需要が見込まれるアルコール依存症の方に絞ることとなった。本人とご家族に寄り添ったサービスを提供したいとのことである。困っている人を助けることは、社会的に素晴らしいサービスであるが、ターゲットへのアプローチが難しい面もある。そのためには、どのようにして間口を広げるかが大切になってくるので、支援機関に引き続き相談するよう助言した。								
	その他目標値の実績	目標値（計画）			目標値（実績）			目標達成度		
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	今年度は11月にセミナーを実施したが、冬で体調不良で当日欠席の方も多くおられた。それを見越して集客する必要があると感じ、一層の集客に尽力したい。また参加される方の傾向として、同じ趣味やサービスを提供できる「居場所」を作りたい方や、就労支援の場を作りたいといった「居場所づくり」に興味をもっている方が多いと感じる。来年度以降のテーマの検討材料にしたい。								

【別紙】複数の事業目標を設定している場合は、別紙に事業目標毎の実績／達成度をご記入ください。

実績／達成度①	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	30.0	支援企業数(実績)	30.0	支援実績率	100.0%	満足率	96.7%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	指標	創業に取り組みたくなった参加者割合						
		数値目標	70.0%	実績数値	90.0%	目標達成度	128.6%		
	その他目標値の実績	目標値（計画）		目標値（実績）		目標達成度			
実績／達成度②	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	20.0	支援企業数(実績)	15.0	支援実績率	75.0%	満足率	93.3%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	指標	創業に取り組みたくなった参加者割合						
		数値目標	70.0%	実績数値	100.0%	目標達成度	142.9%		
	その他目標値の実績	目標値（計画）		目標値（実績）		目標達成度			
実績／達成度③	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	3.0	支援企業数(実績)	3.0	支援実績率	100.0%	満足率	100.0%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	指標	創業コンセプトが決定した創業希望者数						
		数値目標	3者	実績数値	3者	目標達成度	100.0%		
	その他目標値の実績	目標値（計画）		目標値（実績）		目標達成度			

事業名		次代を担う若手経営者等の育成支援事業		事業番号	2	新規/継続	継続
想定する実施期間		平成29年度～	年度まで	9	年目	※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること	
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか) 企業ニーズ (内容・把握方法等)	近年の経済社会情勢は、少子高齢化による人材不足、原材料の高騰、DX化の推進等、その変化は目まぐるしいものであり、老舗企業だけでなく、日本の大半を占める小規模事業者にも降りかかる問題でもある。このような時代で、今後も安定的に事業を持続していくためにも、近年の急激な変化に取り残されず、柔軟に対応できる経営者及び後継者候補の育成が重要となる。 そこで本会では次代を担う若手経営者・後継者候補（以下、若手経営者等）が所属する事業所が抱える経営上の課題・問題点及び社会経済情勢を把握し、経営力の向上（販路開拓、人材育成、事業承継、DX推進等）や次世代の若手経営者等自身の資質の向上を支援し、これにより地域の活性化にも寄与することを目的として、大阪府内15商工会との広域連携により本事業を実施する。					
	支援する対象 (業種・事業所数等)	今後大阪府の地域経済を担っていくであろう概ね45歳以下の若手経営者・後継者候補等を対象とする。					
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	【交流研修会】 2回 合計99社 ①日 時：令和7年7月24日（水） 参加企業数：49社 テーマ：「世代間ギャップの正体とそれが生むズレ～若手が上の世代に感じる違和感～」 世代間ギャップの要因や価値観の違いを整理し、若手が上の世代に抱く違和感の背景を解説。事例共有後、グループディスカッションを通じて相互理解を深め、職場での円滑なコミュニケーション手法を検討した。 ②日 時：令和8年2月4日（水） 参加企業数：50社 テーマ：「AIで仕事の速度が3倍に！使う企業と使わない企業の決定的な差」 AI活用による業務効率化の事例や導入の要点を解説。その後、参加者同士で自社の現状や課題を共有し、活用企業との差や今後の取組を整理するグループディスカッションを実施した。 【勉強会】 3回 合計87社 北ブロック：豊能町、中ブロック：藤井寺市、南ブロック：熊取町の3ブロックで開催。 ①北ブロック 日 時：令和8年2月6日（金）参加企業数：34社 テーマ：「いまさら聞けない生成AIの始め方」 生成AIの基礎や導入手順、活用事例を解説し、自社業務への具体的な活用イメージを持てる内容で実施した。 ②中ブロック 日 時：令和8年3月18日（水）参加企業数：33社 テーマ：「小規模事業者こそ活用したい！ ふるさと納税返礼品登録入門」 ふるさと納税制度の仕組みや市場動向を解説し、小規模事業者でも取り組みやすい返礼品開発や登録手順を具体的に紹介。成功事例をもとに、自社商品の販路拡大につなげるポイントを学ぶ内容で実施した。 ③南ブロック 日 時：令和8年3月26日（木）参加企業数：20社 テーマ：「知らないと損する「経営者のお金」戦略セミナー」 資金繰りや節税、利益確保の基本を解説し、経営判断に役立つお金の考え方を学ぶとともに自社の財務状況を見直す機会とした。 【ハンズオン支援】 支援企業数：5社 若手経営者等がBCPの作成や物産展への出展といった販路拡大に取り組む中で、自社の現状や経営上の課題を客観的に把握し、今後の改善や課題解決に向けた具体的な行動のきっかけを得ることができた。 ＜事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載＞					
	①府施策連携						
	②広域連携	広域連携により、他地域の情報を得る事ができ、自社に活用できるノウハウや知識を共有することができた。併せて交流の時間を設けることによって事業者同士のマッチングにもつながった。					
③市町村連携							
④相談相乗	各事業においては、大阪府内16商工会と連携し、事業プラン、計画等のブラッシュアップを支援し相乗効果を図った。						

事業 全体 の実績 ／ 目標 達成 度	計画に対する 実績（数値）	総支援企業 数(計画)	191.0	総支援企業 数(実績)	191.0	支援 実績率	100.0%	満足率	93.2%	
	目標の達成度 （支援企業を どう変化させる ことができたか）	代表指標	経営上の課題解決及び自身の資質向上につながった事業者の割合							
		数値目標	70	%	実績数値	82	%	目標達成度	117.1%	
	成果の代表事例	生成AIに関するテーマは参加者の関心が非常に高く、ニーズを踏まえ年2回の研修として実施した。内容は基礎知識に加え、具体的な活用事例や操作方法の紹介まで幅広く行った。その結果、「実用性が高く、自社の業務効率化に直結する」との評価が多く寄せられ、日常業務への導入意欲の向上にも繋がった。これにより、生産性向上や人手不足への対応など、経営課題の解決に資する有意義な取り組みとなった。								
	その他目標値の実績	目標値 （計画）			目標値 （実績）			目標達成度		
実施 結果	課題及び次期 以降への取組み （実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか）	今期の研修については、時流に即したテーマを選定したことにより一定の評価を得た。一方で、参加者からは事業内容によっては学んだ内容を実務に活かすことが難しいとの意見も見受けられた。このため次期においては、より多くの参加者が自社の事業に応用できる実践的かつ汎用性の高い内容のセミナーを実施し、時代の変化に柔軟に対応できる若手経営者等の育成に一層注力していく。								

【別紙】複数の事業目標を設定している場合は、別紙に事業目標毎の実績／達成度をご記入ください。

実績 ／ 達成 度 ①	計画に対する 実績（数値）	支援企業 数(計画)	94.0	支援企業 数(実績)	99.0	支援 実績率	105.3%	満足率	95.9%
	目標の達成度 （支援企業を どう変化させる ことができたか）	指標	参加者同士で得た知識を共有し、自社の経営に取入れ実践したいと回答した企業の割合						
		数値目標	70.0	%	実績数値	71.7	%	目標達成度	102.4%
	その他目標値の実績	目標値 （計画）			目標値 （実績）			目標達成度	
実績 ／ 達成 度 ②	計画に対する 実績（数値）	支援企業 数(計画)	92.0	支援企業 数(実績)	87.0	支援 実績率	94.6%	満足率	87.4%
	目標の達成度 （支援企業を どう変化させる ことができたか）	指標	必要な知識を習得し、自社の経営に取入れたいと回答した企業の割合						
		数値目標	70.0	%	実績数値	73.6	%	目標達成度	105.1%
	その他目標値の実績	目標値 （計画）			目標値 （実績）			目標達成度	
実績 ／ 達成 度 ③	計画に対する 実績（数値）	支援企業 数(計画)	5.0	支援企業 数(実績)	5.0	支援 実績率	100.0%	満足率	100.0%
	目標の達成度 （支援企業を どう変化させる ことができたか）	指標	事業計画の作成等の取り組みを実施した企業の割合						
		数値目標	70.0	%	実績数値	100.0	%	目標達成度	142.9%
	その他目標値の実績	目標値 （計画）			目標値 （実績）			目標達成度	

5-3. 地域活性化事業 事業調書（実績）

大阪府商工会連合会

事業名		女性経営者等による地域リーダー養成事業			事業番号		3	新規/継続	継続	
想定する実施期間		平成28年度～		年度まで	10	年目	※複数年段階の実施事業は別紙にて計画を提出すること			
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか) 企業ニーズ (内容・把握方法等)	国の成長戦略である「女性が輝く日本!」、また、OSAKA女性活躍推進会議が発表した「女性が輝くOSAKA行動宣言」に女性の進出が掲げられているように、府内女性経営者約61,000人(東京商工リサーチ調査2024年度調査)のうちの商工会に属する地域の女性経営者等の約370名余りの自主的かつ広域的な事業展開を支援し、地域商工業の振興発展に取りくむとともに、地域活性化の担い手としての個々の資質向上・事業力向上・経営力向上・応用力向上に取り組むことで、府内商工会地域で約8割を占める小規模事業者の中の女性経営者等を地域のリーダーへ養成する。女性による事業承継や管理職登用により企業で女性がいきいき活躍できる社会づくりを進め、地域の活性化等に繋げることを目的とする。								
	支援する対象 (業種・事業所数等)	府内商工会地域の女性経営者等								
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	○経営セミナーの開催 令和7年7月16日(水) アークホテル大阪心斎橋 ※後日配信も実施 テーマ:がんばる女性を応援!事業承継セミナー 参加企業数:94社 女性経営者および経営者の配偶者等を対象に事業承継の意識づけを図るセミナーを開催した。具体的には、事業を誰にどのように引き継ぐかといった後継者選定の問題や、承継に向けて事前に準備すべき事項等についての解説を行った。 また、事業承継を進めるていく上で、想定される様々な問題の全体像を把握するとともに、それぞれの課題に対する解決の方向性について、具体的な事例を交えながら、解説した。 併せて大阪府における事業承継に関する施策紹介の時間も設けた。								
		○ブロック別研修会の開催 テーマ:非日常のおもてなしカリスマ添乗員が教える顧客満足度アップ! 令和5・6年度に策定した観光プランを踏まえ、令和7年度は来訪者への対応を見据え、「おもてなしの心得」をテーマとした研修会を実施した。 具体的にはおもてなしに関する事前準備やコミュニケーション、デジタル技術の活用の重要性に加えて、地域貢献の必要性について解説を行った。 なお各ブロックにおける開催日及び参加企業数等は下記の通り。 (北ブロック) 令和7年10月21日(月) 豊能町商工会館 参加企業数:35社 (河内ブロック) 令和7年9月26日(金) 大阪狭山市文化会館SAYAKAホール 参加企業数:46社 (南ブロック) 令和7年9月22日(月) 熊取交流センター すまいるズ煉瓦館 参加企業数:22社								
		＜事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載＞								
		①府施策連携	大阪府経営支援課と連携し、大阪府の「事業承継」等の施策を紹介した。							
		②広域連携	14商工会と連携し、事業を実施した。							
③市町村連携										
④相談相乗	事業所の現状や課題を把握することで、経営相談事業につなげ事業所支援を実施した。									
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	184.0	総支援企業数(実績)	197.0	支援実績率	107.1%	満足率	96.9%	
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	代表指標	女性経営者等が経営課題解決のきっかけとなったと回答した割合							
		数値目標	70	%	実績数値	85.1	%	目標達成度	121.6%	
	成果の代表事例	経営セミナーについては、事業承継をテーマに実施し、長期的な視点で準備していく必要性の意識づけを図るとともに、事業承継診断シートの作成により自社の現状を概括的に把握し、事業承継が必要な事業所の掘り起こしにつなげ、さらに事業承継引継支援センターの講師招聘により参加者の希望に応じて同センターへの橋渡しを行った。ブロック別研修会については、令和5・6年度に策定した観光プランを踏まえ、令和7年度は来訪時の対応を見据えた「おもてなしの心得」をテーマに実施し、実際の来訪者への対応を通じて満足度向上と府内商工会地域の魅力発信につなげることができた。								
	その他目標値の実績	目標値(計画)				目標値(実績)			目標達成度	
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	本事業では事業承継の意識づけ・観光分野におけるおもてなし意識の向上に一定の成果が見られた。一方で、意識醸成は図られたものの、事業承継に向けた具体的な進め方についての理解は十分とは言えない。このため、事業承継・引継支援センター等の支援機関と連携し、今後の継続的なフォロー体制の構築が必要であると感じた。								

【別紙】複数の事業目標を設定している場合は、別紙に事業目標毎の実績／達成度をご記入ください。

実績／達成度①	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	92.0	支援企業数(実績)	94.0	支援実績率	102.2%	満足率	94.7%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	指標	女性経営者等が経営課題解決のきっかけとなったと回答した割合						
		数値目標	70	%	実績数値	85.1	%	目標達成度	121.6%
	その他目標値の実績	目標値（計画）			目標値（実績）			目標達成度	
実績／達成度②	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	92.0	支援企業数(実績)	103.0	支援実績率	112.0%	満足率	99.0%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	指標	女性経営者等が資質向上につながったと回答した割合						
		数値目標	70	%	実績数値	98.1	%	目標達成度	140.1%
	その他目標値の実績	目標値（計画）			目標値（実績）			目標達成度	

事業名		事業継続計画(BCP)策定支援事業		事業番号	4	新規/継続	継続
想定する実施期間		平成24年度～	年度まで	14	年 目	※複数年度段階的実施事業は別紙にて計画を提出すること	
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか) 企業ニーズ (内容・把握方法等)	地震や台風、豪雨などの自然災害や、新型インフルエンザなど感染症、サイバー攻撃などのリスクが存在するなか、企業は事業資産への影響を最小限にとどめ、事業の継続、早期復旧が求められる。さまざまなリスクの企業活動への影響を想定し、発生後の対応措置などを事前に準備することは、企業価値の維持・向上の観点からも重要である。 事業継続計画(BCP)を「策定している」企業の割合は、2018年より毎年増加しているが19.8%、中小企業では16.5%。策定中・策定検討中が合計30.2%、未策定50.0%と策定率は低水準である。 中小企業の事業継続計画(以下、BCP)の策定および更新の支援への依頼は依然多く、事業者へ支援を行き渡らせる余地は依然多いと考えられる。 当会は商工会・商工会議所と連携し、BCP作成・成熟向上の必要性を訴求し、それらを進めていく。また、BCPのブラッシュアップ・定着を支援し、事業継続マネジメント(以下、BCM)の運用へ至るよう、普及・啓蒙をしていく。 資料：帝国データバンク 2016年以降毎年実施調査					
	支援する対象 (業種・事業所数等)	大阪府内の中小企業・小規模事業者。BCP未策定、作成済み文書の成熟度向上、想定リスク拡張のための文書更新、演習(実働や机上)、認証取得支援を望む事業者。					
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	下記①～⑧は企業を訪問、企業のBCP策定、BCM経営導入を支援する。WEB会議システムでのオンライン支援の場合もある。 ①策定支援 簡易版(Aコース) 2回訪問 事業継続計画書、初動・復旧対応手順書の作成など簡易版のBCPの策定を支援した。 ②策定支援 詳細版(Bコース) 4回訪問 事業継続計画書、初動・復旧対応手順書ならびに事業継続方針等の作成など本格的な策定を支援した。 ③拡充支援 ブラッシュアップ(Cコース) 2回訪問 策定済みBCPのブラッシュアップを支援した。 ④拡充支援 訓練・演習実施(Dコース) 2回訪問 既にBCPを策定した企業の、BCP発動の訓練・演習・社員研修などの実施を支援した。 ⑤拡充支援 認定・認証取得(Eコース) 3回訪問 内閣官房長官国土強靱化推進室が制定した「国土強靱化貢献団体の認証に関するガイドライン」に基づくレジリエンス認証取得のために必要な申請手続きについて支援した。 ⑥拡充支援 新型インフルエンザ等感染症対応手順書対策(Fコース) 2回訪問 新型コロナウイルスの予防対策・感染者対策・復旧対応に重点を置いたマニュアルの策定を支援した。 ⑦拡充支援 IT BCP対策(Fコース) 1回訪問 IT-BCPへの拡充を支援した。 ⑧観光レジリエンス対策セミナー 日時： 7月4日(金)13時～14時 場所：大阪商工会議所 401会議室 配信(見逃し対象)：7月15日(火)～8月17日(日) 11月6日(木)13時～14時 場所：大阪商工会議所 502会議室 配信(見逃し対象)：11月13日(木)～12月21日(日) 観光関連事業者(観光業、宿泊業、飲食業、交通機関など)に求められる防災と事業継続の具体的な取り組み(観光レジリエンス)についての解説を現地開催とライブ配信を併用し実施した。 ⑨サイバーセキュリティ対策セミナー 日時：8月4日(月)15時～17時 場所：大阪商工会議所 402会議室 配信(見逃し対象)：8月6日(水)～9月7日(日) 多様化するサイバー攻撃の脅威に関する説明から、サイバーセキュリティについての最新情報、IT-BCPの基礎知識の説明を現地開催とライブ配信を併用し実施した。 ⑩机上訓練・演習ワークショップ 日時： 5月26日(月)14時～17時 場所：大阪商工会議所 402会議室 9月25日(木)14時～17時 場所：大阪商工会議所 502会議室 発災とその状況が変化していく場面を設定したシナリオを提示し、参加者がロールプレイにて想定した事象への対処方法のアイデアを出し合い討議するワークショップ型の机上訓練を実施した。					
		<事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載>					
	①府施策連携	商-13 BCP・BCMの普及促進及び策定支援＝大阪府経営支援課経営革新グループと連携し、BCPの啓発並びに策定・見直し、訓練、認証の取得準備支援を行った。					
	②広域連携	府内商工会・商工会議所と連携し、BCP策定支援制度の啓発活動(BCP策定支援制度チラシの配布等)及びBCPの策定・見直し、訓練、認証の取得準備支援を行った。					
	③市町村連携	無					
	④相談相乗	無					

事業 全体 の実績 ／ 目標 達成 度	計画に対する 実績（数値）	総支援企業 数(計画)	255.0	総支援企業 数(実績)	233.0	支援 実績率	91.4%	満足率	97.4%	
	目標の達成度 （支援企業を どう変化させる ことができたか）	代表指標	・事業継続計画(簡易版を含む)を策定した企業割合 ・事業継続計画を拡充した企業割合							
		数値目標	100%		実績数値	100%		目標達成度	100.0%	
	成果の代表事例	D 訓練・演習コースを利用された事業者の従業員が、訓練シナリオ作成、被災状況報告の1次取りまとめ・指示・経営者への報告などロールプレイを経験することができた。 その過程で、経営者の先回り指示と、指示された内容の実行にとどまる従業員 という従前の関係から、計画で規定された情報収集・行動に基づく経営者から従業員へ権限移譲へと変化し、計画の成熟度向上と権限委譲の意識がより高まることとなった。								
	その他目標値の実績	目標値 （計画）				目標値 （実績）			目標達成度	
実施 結果	課題及び次期 以降への取組み （実績が目標値に達してい ない場合は、その理由や今後ど のようにフォローするのか）	「BCP」の認知の高まりとともに、正しい理解がされないケースが増え、防災・災害対策との理解でとどまっている状況の事業者が散見される。新しく計画書を策定する支援であるAコースの目標を高く設定したが、結果は例年通り、ブラッシュアップ、訓練・演習のコースの利用が多くなった。新しく支援の利用を始めた事業者が半数弱あり、また、策定～ブラッシュアップへ一貫通で支援を利用される事例もあるので、策定支援コースにて防災計画でない事業継続のための正しい方法論を策定される様、支援を周知を進めていく。								

【別紙】複数の事業目標を設定している場合は、別紙に事業目標毎の実績／達成度をご記入ください。

実績／達成度①	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	55.0	支援企業数(実績)	19.0	支援実績率	34.5%	満足率	100.0%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	指標	簡易版のBCPを策定した企業割合						
		数値目標	100%	実績数値	100%	目標達成度	100.0%		
	その他目標値の実績	目標値（計画）		目標値（実績）		目標達成度			
実績／達成度②	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	15.0	支援企業数(実績)	7.0	支援実績率	46.7%	満足率	100.0%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	指標	BCPを策定した企業割合						
		数値目標	100%	実績数値	100%	目標達成度	100.0%		
	その他目標値の実績	目標値（計画）		目標値（実績）		目標達成度			
実績／達成度③	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	33.0	支援企業数(実績)	38.0	支援実績率	115.2%	満足率	100.0%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	指標	策定済みのBCPをブラッシュアップした企業割合						
		数値目標	100%	実績数値	100%	目標達成度	100.0%		
	その他目標値の実績	目標値（計画）		目標値（実績）		目標達成度			
実績／達成度④	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	10.0	支援企業数(実績)	38.0	支援実績率	380.0%	満足率	94.7%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	指標	BCPの発動演習を行った企業割合						
		数値目標	100%	実績数値	100%	目標達成度	100.0%		
	その他目標値の実績	目標値（計画）		目標値（実績）		目標達成度			
実績／達成度⑤	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	5.0	支援企業数(実績)	6.0	支援実績率	120.0%	満足率	100.0%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	指標	認証を取得する準備が完了した企業割合						
		数値目標	100%	実績数値	100%	目標達成度	100.0%		
	その他目標値の実績	目標値（計画）		目標値（実績）		目標達成度			

実績／達成度⑥	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	5.0	支援企業数(実績)	9.0	支援実績率	180.0%	満足率	88.9%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	指標	新型コロナウイルス対応マニュアルを策定した企業割合						
		数値目標	100%	実績数値	100%	目標達成度	100.0%		
	その他目標値の実績	目標値（計画）		目標値（実績）		目標達成度			
実績／達成度⑦	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	4.0	支援企業数(実績)	2.0	支援実績率	50.0%	満足率	100.0%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	指標	サイバーセキュリティに関する脅威を把握し、既存のBCPを拡充できた企業割合						
		数値目標	100%	実績数値	100%	目標達成度	100.0%		
	その他目標値の実績	目標値（計画）		目標値（実績）		目標達成度			
実績／達成度⑧	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	47.0	支援企業数(実績)	34.5	支援実績率	73.4%	満足率	100.0%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	指標	観光レジリエンスに関する理解および取組みへの意欲が高まった企業割合						
		数値目標	70%	実績数値	91.2%	目標達成度	130.3%		
	その他目標値の実績	目標値（計画）		目標値（実績）		目標達成度			
実績／達成度⑨	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	51.0	支援企業数(実績)	54.0	支援実績率	105.9%	満足率	98.1%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	指標	サイバーセキュリティに関する理解および取組みへの意欲が高まった企業割合						
		数値目標	70%	実績数値	94.3%	目標達成度	134.8%		
	その他目標値の実績	目標値（計画）		目標値（実績）		目標達成度			
実績／達成度⑩	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	30.0	支援企業数(実績)	25.5	支援実績率	85.0%	満足率	95.2%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	指標	BCP発動演習の実施・運用方法の理解および継続的な取組みへの意欲が高まった企業割合						
		数値目標	70%	実績数値	100.0%	目標達成度	142.9%		
	その他目標値の実績	目標値（計画）		目標値（実績）		目標達成度			

大阪府商工会連合会

事業名		経営トピックセミナー配信事業			事業番号	5	新規/継続	継続	
想定する実施期間		令和3年度～	年度まで		5年目	※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること			
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか) 企業ニーズ (内容・把握方法等)	YouTubeを用いたオンデマンド配信にてセミナーを開催する事により、商工会地域の企業の、地域外（大阪市内など）開催のセミナー参加の時間・距離の障壁を解消し、経営力向上に寄与するアクションとそれらを動機付ける機会を増やし、企業にとり新たな取り組みへの機会の喪失、競争力の弱体化等を回避する。 企業の事務所などでの視聴に加え、商工会の会議室等にて視聴する機会も提供し、経営指導員との接点を増やし、個別支援へ円滑につなげられる様にする。 配信にて開催されるセミナーが従前より増えたため、商工会単独では集客難度が高いトピックを選定、開催する。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	大阪府内の中小企業・小規模事業者。							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	以下3テーマを、商工会や事業者事業所にてオンデマンド動画配信を視聴する方式にて実施。 ①小さい会社でもこの方法で実現！省エネで利益を生み出す脱炭素経営セミナー： 収録日時：6月19日（木）14時～16時 場所：大阪商工会議所 404会議室 配信：6月27日（金）～2月22日（日） 受講者数：51者 ②マーケティング&プロモーションスキルアップセミナー ～自社でできる！お客さまに響くプレスリリース作成： 収録日時：4月23日（水）14時～16時 場所：大阪商工会議所 403会議室 配信：6月23日（月）～2月22日（日） 受講者数：58.5者 ③外国人従業員と働く時代！伝わりやすいやさしい日本語を学ぼう： 収録日時：7月1日（火）14時～16時 場所：大阪商工会議所 404会議室 配信：7月25日（金）～2月22日（日） 受講者数：46.5者 <事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載>							
	①府施策連携	①省エネで利益を生み出す脱炭素経営セミナー：商-11 脱炭素経営へ向けた取組み支援＝府おおさかスマートエネルギーセンターと連携し、脱炭素促進の制度の活用について紹介 ②マーケティング&プロモーションスキルアップセミナー：商-17 デザイン、マーケティング、コンテンツ等の活用による、地域中小企業支援事業＝府経営支援課経営革新グループ、大阪産業局経営支援チームデザイン活用支援担当と連携、デザイン相談、ホームページ無料診断の活用について紹介 ③伝わりやすいやさしい日本語を学ぼう：労-6 中小企業のための、ダイバーシティ経営推進＝雇用推進室就業促進課と連携し、人材育成支援事業補助金の活用について紹介							
	②広域連携	大阪府内16商工会と連携、オンデマンド配信を実施。							
③市町村連携	無								
④相談相乗	セミナー配信時に支援の希望を募り、更なる支援として相談を行い各事業所の課題解決につなげた。								
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	168.0	総支援企業数(実績)	156.0	支援実績率	92.9%	満足率	95.5%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	代表指標	セミナーテーマに対する理解および取り組み意欲の高まった企業の割合						
		数値目標	70%		実績数値	98.1%		目標達成度	140.1%
	成果の代表事例	やさしい日本語を受講された、技能実習生などとの面談が多い、オフィスビル・ホテル・商業施設等の清掃事業社の従業員が社内の情報共有ツールでセミナーを紹介された。結果、計17名の申込および、具体的なユースケースにて日本語の用法を紹介している事が現実的な場面で役立つ旨の評価となった。							
	その他目標値の実績	目標値（計画）			目標値（実績）			目標達成度	
実施結果	課題及び次期以降への取組み（実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか）	様々な課題を抱える事業者がテーマにあったセミナーを受講することで、課題解決につながった。 現地・中継配信・現地開催日時後の機会として提供していた収録動画のオンデマンド配信の形態から収録動画のオンデマンド配信のみの形態へ変更し、配信期間の長期化、メールマガジン、セミナー告知ウェブサイトなどによる期間中の追加の告知にて受講を喚起する手法へ変換した。その手法を継続し、受講機会を長期にわたり提供する。							

【別紙】複数の事業目標を設定している場合は、別紙に事業目標毎の実績／達成度をご記入ください。

実績／達成度①	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	55.0	支援企業数(実績)	51.0	支援実績率	92.7%	満足率	96.1%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	指標	脱炭素経営の概要、および現実的な具体的なアクションを理解し、取り組み意欲が高まった企業の割合						
		数値目標	70%	実績数値	96.1%	目標達成度	137.3%		
	その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度			
実績／達成度②	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	64.0	支援企業数(実績)	58.5	支援実績率	91.4%	満足率	93.1%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	指標	お客様づくりのコミュニケーションや広報に対する理解および取り組み意欲が高まった企業の割合						
		数値目標	70%	実績数値	98.3%	目標達成度	140.4%		
	その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度			
実績／達成度③	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	49.0	支援企業数(実績)	46.5	支援実績率	94.9%	満足率	97.8%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	指標	外国人にもわかりやすい「やさしい日本語」の理解とそれらによる事業所の魅力の向上などに対する理解、および取り組み意欲が高まった企業の割合						
		数値目標	70%	実績数値	100.0%	目標達成度	142.9%		
	その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度			

大阪府商工会連合会

事業名		地域資源販路開拓支援事業			事業番号	6	新規/継続	継続		
想定する実施期間		令和5	年度～	年度まで	年 目	※複数年度段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること				
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか) 企業ニーズ (内容・把握方法等)	令和7年に開催される大阪・関西万博は大阪府内の名産品や文化を国内外にアピールする絶好の機会である。そこで、大阪府内の中小・小規模事業者の商品・サービス等の情報を、集客力の高い観光WEBサイトに掲載することで、大阪・関西万博の観光客や外国人旅行者の需要の取り込みを図る。 すでに一部の大阪府内の商工会地域では、単独で自治体と連携するなどし地場産業の振興や名産品のブランド化に取り組んでいるが、情報の発信力としては市町村単位に限られ、広報についても限定的な効果となっていることがある。そこで本事業ではこの商工会等における地域資源の商品やサービスを取りまとめ、大阪府内商工会等地域の情報を集約することで費用対効果の向上及び観光客や消費者等に対する訴求力を向上させることを目的とする。 また、事業者に対し専門家によるセミナーを実施し、WEBを活用した販売促進や販路開拓の取り組みを啓蒙する。								
	支援する対象 (業種・事業所数等)	大阪府内商工会及び希望する商工会議所並びに地域資源の活用に取り組む企業								
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	令和7年に実施される大阪・関西万博に合わせて、万博の経済効果を大阪市内に限らず、その周辺地区である商工会地区等に観光客や外国人旅行者の需要を取り込むべく、地域資源の販路拡大を商工会等と連携して行う。 【販路開拓型】 ①商工会等の地域資源を取扱う事業者の紹介を、多言語対応の大手旅行サイトに掲載するとともに、観光客や外国人旅行者の需要を取り込むための見せ方等について支援し、販売あるいは問い合わせ件数の増加を見込む。実施時期：令和7年7月18日～ 地球の歩き方主催多言語旅行情報サイト「GOOD LUCK TRIP」に掲載 掲載：41事業者 URL：https://www.gltjp.com/ja/article/item/21075/ 【人材育成型】 地域に根差しつつ観光客やインバウンドを取り込み売上UPを目指すセミナー ①事業者に対して、観光客需要の取込み方法やWEBを活用した販路開拓をセミナーにより啓蒙し、売上UPにつながる契機とする。 テーマ：「大阪・関西万博を契機としたグローバルビジネスのすすめ」 ～「訪日客の招き方・おもてなし」旅ナカ編～ ・大阪・関西万博やインバウンドなどで観光客の需要をどのように取り込むか？ ・外国人旅行者が来店した場合の準備と対応について 講師：観光ビジネス総研株式会社 代表 実施時期：令和7年7月11日～10月13日 参加：46事業者 ②事業者に対して、万博終了後も継続した観光客需要の取込み方法やWEBを活用した販路開拓をセミナーにより啓蒙し、売上UPにつながる契機とする。 テーマ：「大阪・関西万博終了後も継続して観光客の需要を取り込む方法」 ・大阪・関西万博を経て高まった日本への関心をどのように活かすべきか ・これから外国人旅行者にどのように「知ってもらうか」。その手法について 講師：株式会社地球の歩き方 GOOD LUCK TRIP ディレクター 実施時期：令和7年10月14日～令和8年1月30日 参加：46事業者 <事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載> ①府施策連携 経営支援課と連携し事業を実施する。 ②広域連携 大阪府内商工会等と連携して事業を実施する。商工会等が事業者に対して資料に基づいて説明し参加を呼びかける。 ③市町村連携 市町村等と広報等で連携する。 ④相談相乗								
	事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	144.0	総支援企業数(実績)	133.0	支援実績率	92.4%	満足率	100.0%
	事業全体の実績／目標達成度	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	代表指標	売上または問い合わせ件数の増加した企業割合						
数値目標			70%	実績数値	100.0%	目標達成度	142.9%			
成果の代表事例		八尾市で喫茶と物品販売のお店を開業されている方から、サイトに掲載後、問い合わせやお客さんが増えたとお話をいただいた。また、それまであまりいなかった外国人の方も来られるようになったとのことである。今後はさらに、メニューやホームページの英語化に取り組んでいくとのことである。								
事業全体の実績／目標達成度	その他目標値の実績	目標値 (計画)		目標値 (実績)		目標達成度				

実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	人や物流の中心地である大阪市から1時間前後で行ける地域に、観光客を誘導する目的で支援を展開したが、改めてWEB広告やSMSでの拡散が効果的であると認識した。 事業者の方には情報発信の有効性は理解していただけるものの、人手不足等によりなかなかWEB活用に取り組めない。そこで、個別効果的な事業支援を推進する必要がある。
------	--	---

【別紙】複数の事業目標を設定している場合は、別紙に事業目標毎の実績／達成度をご記入ください。

実績／達成度①	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	48.0	支援企業数(実績)	41.0	支援実績率	85.4%	満足率	100.0%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	指標	売上または問い合わせ件数の増加した事業者割合						
		数値目標	70%	実績数値	100%	目標達成度	142.9%		
	その他目標値の実績	目標値（計画）		目標値（実績）		目標達成度			
実績／達成度②	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	48.0	支援企業数(実績)	46.0	支援実績率	95.8%	満足率	100.0%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	指標	観光客需要の取込みやWEBによる販路拡大に取り組もうとする事業者割合						
		数値目標	70	実績数値	90.2	目標達成度	128.9%		
	その他目標値の実績	目標値（計画）		目標値（実績）		目標達成度			
実績／達成度②	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	48.0	支援企業数(実績)	46.0	支援実績率	95.8%	満足率	100.0%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	指標	万博終了後において観光客需要の取込みやWEBによる販路拡大に取り組もうとする事業者						
		数値目標	70	実績数値	79.4	目標達成度	113.4%		
	その他目標値の実績	目標値（計画）		目標値（実績）		目標達成度			

事業名		地域事業者伴走型支援事業		事業番号		7	新規/継続	新規
想定する実施期間		令和7年度～	年度まで	1	年 目	※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること		
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか) 企業ニーズ (内容・把握方法等)	事業者の中には、活用されていない知的資産が存在する。その資産を見える化し、企業の経営状態を把握するために「ローカルベンチマークシート」の作成に取り組む必要がある。事業者の強みの棚卸しの段階から連合会と商工会等で支援を行い、経営革新や事業承継に取り組む足掛かりとする。また、事業者と連合会・商工会等と一緒にローカルベンチマークシートの作成に取り組むことで、関係性構築が図れ、金融機関とのコミュニケーションツールとなり得ることに加え、事業者の企業価値向上につなげたい。 伴走型支援に対しては、商工会の経営指導員と連合会で役割分担を決め、二人三脚でそれぞれの得意分野から支援を行うことにより、事業者の中長期的な成長につなげる。						
	支援する対象 (業種・事業所数等)	大阪府内の中小企業・小規模事業者						
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	【テーマ・実施日・参加事業社数】 以下4テーマを現地ならびにオンデマンド動画を配信する方式にて実施した。 ①ローカルベンチマーク 持ち味が見つかる！自社分析入門セミナー ～ローカルベンチマーク（ロカベン）で持ち味を探しませんか～ 実施手法：アーカイブ配信 配信開始日：6月23日(月)～12月26日(金) 参加事業者数：52人 ローカルベンチマークを活用し、自社の強み・弱みを整理する手法を解説。財務・非財務の視点から現状分析の進め方を学び、持ち味の把握と今後の経営改善の方向性を検討する内容で実施した。 ②事業計画作成(基礎編) 変化に対応できる企業へ！事業計画書作成&補助金活用ポイントセミナー 実施手法：現地＋アーカイブ配信 現地開催日：5月19日(月) 配信開始日：5月26日(月)～12月26日(金) 参加事業者数：98人 事業環境の変化に対応するため、事業計画書作成の基本的な考え方や策定手順を解説するとともに、補助金活用時のポイントについて理解を深める内容で実施した。 ③経営革新(ステップアップ編) 経営革新セミナー ～"新規事業への種"を見つけるために まず一歩を踏み出してみませんか～ 実施手法：アーカイブ配信 配信開始日：9月9日(火)～12月26日(金) 参加事業者数：42人 SWOT分析を活用した経営分析手法を解説するとともに、経営革新計画制度の概要や活用メリットを説明した。あわせて策定企業の成功事例紹介やパネルディスカッションを実施し、具体的な取り組みイメージの理解を深める内容で実施した。 ④事業承継(ステップアップ編) 次世代へ！！事業の引継ぎ入門セミナー ～あなたにとって“価値ある事業”をつないでいきませんか～ 実施手法：アーカイブ配信 配信開始日：7月28日(月)～12月26日(金) 参加事業者数：47人 事業承継の基礎について、支援コーディネーターが承継の流れや準備時期を解説するとともに、後継者によるパネルディスカッションを通じて成功のポイントを共有する内容で実施した。 ⑤【ハンズオン(独自提案型)】 参加事業者数：16社 ローカルベンチマークシートの作成支援を行い、事業者の現状や課題を可視化したうえで、中長期的な支援を希望する事業者にハンズオン支援を実施した。作成にとどまらず社内での共有・活用を促進し、経営革新や円滑な事業承継に向けた取組を後押しするため、商工会等と連合会が連携し継続的な支援を行った。						
	<事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載>							
	①府施策連携	大阪府経営支援グループおよび経営革新グループと連携し、セミナーを実施。						
	②広域連携	大阪府内商工会と連携、当日の会場参加、アーカイブ動画の後日オンデマンド配信を実施。						
③市町村連携								
④相談相乗	セミナー実施後に更なる支援として相談を行い各事業所の課題解決につなげた。							

事業 全体 の実績 ／ 目標 達成 度	計画に対する 実績（数値）	総支援企業 数(計画)	265.0	総支援企業 数(実績)	255.0	支援 実績率	96.2%	満足率	88.6%	
	目標の達成度 （支援企業を どう変化させる ことができたか）	代表指標	経営革新、事業承継に取り組みだした事業者数							
		数値目標	16	社	実績数値	16	社	目標達成度	100.0%	
	成果の代表事例	経営革新セミナーを受講された企業に対し、専門家による伴走支援を実施した。事業の強みや市場環境の整理、ターゲット設定、提供価値の明確化を行いながら、実現可能性の高い事業計画へとブラッシュアップを図った。あわせて、数値計画や実施スケジュールの精緻化にも取り組んだ結果、内容の具体性と妥当性が向上し、最終的に経営革新計画の認証取得に至った。								
	その他目標値の実績	目標値 （計画）			目標値 （実績）			目標達成度		
実施 結果	課題及び次期 以降への取組み （実績が目標値に達してい ない場合は、その理由や今後ど うにフォローするのか）	今期のセミナーは配信を中心に実施した結果、アンケート回収や支援希望者への連絡・日程調整に想定以上の時間を要し、ハンズオン支援への円滑な移行に課題が生じた。 次期については、現地開催を主軸とすることで、セミナー段階から事業者との接点を確保し、その場で個別相談や支援意向の確認を行うなど、ハンズオン支援へのスムーズな接続を図る。 あわせて、関連性・親和性の高いテーマのセミナーを組み合わせることで、参加者の課題意識を高め、個別支援への動機付けを強化する。								

【別紙】複数の事業目標を設定している場合は、別紙に事業目標毎の実績／達成度をご記入ください。

実績 ／ 達成 度 ①	計画に対する 実績（数値）	支援企業 数(計画)	68.0	支援企業 数(実績)	52.0	支援 実績率	76.5%	満足率	88.5%
	目標の達成度 （支援企業を どう変化させる ことができたか）	指標	ローカルベンチマークに対する理解および取り組み意欲が高まった事業者の割合						
		数値目標	70 %	実績数値	69.2 %	目標達成度	98.9%		
	その他目標値の実績	目標値 （計画）		目標値 （実績）		目標達成度			
実績 ／ 達成 度 ②	計画に対する 実績（数値）	支援企業 数(計画)	71.0	支援企業 数(実績)	98.0	支援 実績率	138.0%	満足率	85.7%
	目標の達成度 （支援企業を どう変化させる ことができたか）	指標	事業計画策定の手法を理解し、取り組み意欲が高まった事業者の割合						
		数値目標	70 %	実績数値	54.1 %	目標達成度	77.3%		
	その他目標値の実績	目標値 （計画）		目標値 （実績）		目標達成度			
実績 ／ 達成 度 ③	計画に対する 実績（数値）	支援企業 数(計画)	53.0	支援企業 数(実績)	42.0	支援 実績率	79.2%	満足率	88.1%
	目標の達成度 （支援企業を どう変化させる ことができたか）	指標	経営革新に対する理解および取り組み意欲が高まった事業者の割合						
		数値目標	70 %	実績数値	69.0 %	目標達成度	98.6%		
	その他目標値の実績	目標値 （計画）		目標値 （実績）		目標達成度			
実績 ／ 達成 度 ④	計画に対する 実績（数値）	支援企業 数(計画)	57.0	支援企業 数(実績)	47.0	支援 実績率	82.5%	満足率	91.5%
	目標の達成度 （支援企業を どう変化させる ことができたか）	指標	事業承継の準備に取り組んだ事業者の割合						
		数値目標	70 %	実績数値	72.3 %	目標達成度	103.3%		
	その他目標値の実績	目標値 （計画）		目標値 （実績）		目標達成度			
実績 ／ 達成 度 ⑤	計画に対する 実績（数値）	支援企業 数(計画)	16.0	支援企業 数(実績)	16.0	支援 実績率	100.0%	満足率	100.0%
	目標の達成度 （支援企業を どう変化させる ことができたか）	指標	経営革新、事業承継に取り組みだした事業者数						
		数値目標	16 社	実績数値	16 社	目標達成度	100.0%		
	その他目標値の実績	目標値 （計画）		目標値 （実績）		目標達成度			

事業名		経営指導員研修		事業番号		I	新規/継続	継続
想定する実施期間		平成20年度～		年度まで		18	年目	※複数段階の実施事業は別紙にて計画を提出すること
事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか) 企業ニーズ (内容・把握方法等)	大阪の全ての経営指導員の経営支援能力向上のための研修事業を実施し、多様化、高度化する大阪の中小企業の皆様からのあらゆる経営相談に対応できる人材育成を目的とする。							
	商工会議所・商工会単独で経営指導員の経営スキル向上を図る研修は困難である。また、世代交代に伴う新任経営指導員等の支援スキル向上は急務である。ニーズ把握は、研修時のアンケートを実施、分析し、次年度の計画を立案する。							
	「商工会及び商工会議所による小規模事業者の支援に関する法律の一部を改正する法律」（平成26年法律第95号）に伴い、経営指導員としての支援手法やスキルアップを目的とした、より専門性の高い研修を実施する必要がある。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)		大阪府内全ての商工会議所・商工会、商工会連合会の経営指導員に研修を行い、結果、全ての府内中小・小規模事業者が支援を享受できる対象となる。					
	(a) 新任・若手経営指導員対象の研修会・勉強会							
	開催日		テーマ	講師等	場所	研修形態	参加者	
	現地	配信						
	6/5		経営課題解決に導くヒアリング力向上研修	中小企業診断士	大阪商工会議所 2号会議室	講義 グループワーク	11人	
	6/18	6/25～ 7/25	商工会・商工会議所の地域における役割と経営指導の在り方について	大阪府商工労働部 経営支援課経営支援グループ 担当者	大阪商工会議所 3号会議室	講義	25人	
	7/3	7/10～ 8/8	マルケイ融資の推薦書の書き方と決算書の見方	日本政策金融公庫 大阪支店 担当者	大阪商工会議所 3号会議室	講義 個人ワーク	27人	
7/11	7/18～ 8/22	決算書の読み方・作り方	税理士	大阪商工会議所 3号会議室	講義	29人		
10/9	10/17～ 10/31	社会・労働保険の基礎知識強化講座	社会保険労務士	大阪商工会議所 3号会議室	講義	44人		
10/29	11/7～ 12/5	雇用・離職時における各種手続きについて	社会保険労務士	大阪商工会議所 3号会議室	講義	37人		
2/4	2/12～ 3/13	財務・税務入門講座	税理士	大阪商工会議所 3号会議室	講義	33人		
(b) 経営情報トピックス								
開催日		テーマ	講師等	場所	研修形態	参加者		
現地	配信							
6/25		中小企業・小規模事業者に求められるサイバーセキュリティ対策について	大阪府警察本部 警務部 高度情報推進局 サイバーセキュリティ対策課	大阪商工会議所 3号会議室	講義	26人		
6/25		サイバーセキュリティに対する国の中小企業向け施策について	近畿経済産業局 地域経済部 次世代産業・情報政策課	大阪商工会議所 3号会議室	講義	25人		
	7/2～ 8/1	経営革新計画承認制度の制度・利用方法について	大阪府商工労働部 経営支援課経営革新グループ 担当者		講義	18人		
7/10	7/17～ 8/22	事業継続力強化計画について	近畿経済産業局 産業部 創業・経営支援課 経営力向上室	大阪商工会議所 3号会議室	講義	23人		
7/11	7/17～ 8/23	BCPの策定支援と、超簡易版BCPの活用	大阪府商工労働部 経営支援課経営支援グループ 担当者	大阪商工会議所 3号会議室	講義	23人		
11/14		賃金引上げに係る各種支援策について	大阪働き方改革推進支援・賃金相談センター	大阪商工会議所 403号会議室	講義	13人		
3/5	3/10～ 3/27	国の中小企業支援施策について	近畿経済産業局 産業部 中小企業課 担当者	大阪府商工会議所 3号会議室	講義	31人		
(c) 1) 中堅～管理職支援の研修会								
開催日		テーマ	講師等	場所	研修形態	参加者		
現地	配信							
11/12	11/21～ 12/26	カスタマーハラスメント対策について	大阪企業人権協議会	大阪商工会議所 3号会議室	講義	15人		
12/12	12/19～ 1/30	アンコンシャスバイアス（無意識の偏見）とは？	般南企画室	大阪商工会議所 3号会議室	講義	19人		

事業の概要

実施時期・具体的な内容及び事業手法

(c2)経営相談・地域活性化　～支援策等の活用を活かした実務支援～

開催日		テーマ	講師等	場所	研修形態	参加者
現地	配信					
5/22	5/29～6/27	事業計画作成支援について	中小企業診断士	大阪商工会議所3号会議室	講義 個人ワーク	35人
6/11	6/18～7/18	ローカルベンチマーク基礎研修 ～中小企業支援に活かすための第一歩～	追手門学院大学 経営学部長	大阪商工会議所3号会議室	講義	36人
6/18	6/25～7/25	小規模事業者支援に活用できる生成AIについて	エマージェンス・ジャパン合同会社	大阪商工会議所3号会議室	講義	65人
6/20	6/27～8/1	経営支援に活かす知的財産の基礎知識	弁理士	大阪商工会議所403号会議室	講義	22人
6/20	6/27～8/1	INPIT知財総合支援窓口について	INPIT大阪府知財総合支援窓口 担当者	大阪商工会議所403号会議室	講義	19人
7/10	7/17～8/22	小規模事業者の事業継続を支えるBCPの基本	ミネルヴァベリタス株式会社	大阪商工会議所3号会議室	講義	25人
7/10	7/17～8/22	事業継続計画(BCP)策定支援について	大阪府商工会連合会	大阪商工会議所3号会議室	講義	20人
7/23		売上向上につながるSNS活用法	株式会社ASTANE	大阪商工会議所白鳳の間	講義	22人
7/29	8/5～9/5	集客力アップを目指す！チラシ&インスタ画像のためのCanva×デザイン講座	中小企業診断士	大阪商工会議所3号会議室	講義	62人
8/22	8/29～9/26	創業計画書作成支援について	中小企業診断士	大阪商工会議所3号会議室	講義	57人
9/12	9/19～10/17	健康経営の基礎知識	NPO法人健康経営研究会	大阪商工会議所403号会議室	講義	24人
9/17		経営課題発掘から始める人材採用・定着支援手法	(独)中小企業基盤整備機構 中小企業支援アドバイザー 公益財団法人大阪産業局	大阪商工会議所3号会議室	講義 グループワーク	8人
	10/17～11/21	国際人材協力機構JITCOについて	公益財団法人 国際人材協力機構		講義	26人
	10/17～11/21	産業雇用安定センターについて	公益財団法人産業雇用安定センター		講義	17人
11/11	11/18～12/26	中小企業の効果的な広報PR・プレスリリースの手法について	株式会社PR TIMES	大阪商工会議所403号会議室	講義	33人
11/11	11/18～12/26	情報セキュリティに係るインシデント対応について	独立行政法人情報処理推進機構（IPA）	大阪商工会議所403号会議室	講義	24人
11/26	12/3～1/16	事業承継の現状と支援の実務ポイント	大阪府事業承継・引継支援センター	大阪商工会議所3号会議室	講義	30人
(c3)CSR・コンプライアンス・人権						
開催日		テーマ	講師等	場所	研修形態	参加者
現地	配信					
12/8	12/15～1/30	ストレスチェックを経験してみよう	公認心理士・看護師	大阪商工会議所3号会議室	講義	18人
1/28	2/4～3/6	わたしからはじまる人権 —企業と人権を考える—	一般財団法人大阪府人権協会	大阪商工会議所501号会議室	講義	11人

	(d) 団体別オーダーメイド研修									
	開催日		テーマ	講 師 等	場 所	研修形態	参加者			
	現地	配信								
	10/27		消費税・法人税について	税理士	能勢町商工会	講義	5 人			
	10/31	11/7～12/5	年末調整の改正点について	大阪府商工労働部 経営支援課経営革新グループ担当者	大阪商工会議所 3号会議室	講義	68 人			
	1/20		企業の紹介記事作成に係るヒアリング力とアウトプットのポイントについて	中小企業診断士 情報処理安全確保支援士	池田商工会議所	講義 グループワーク	7 人			
	(e1) 中小企業大学校での学習									
	開催日		テーマ	講 師 等	場 所	研修形態	参加者			
	8/19～10/10		中小企業支援担当者等研修 税務・財務診断 【1日基礎研修1】	中小企業大学校講師	中小企業大学校関西校	講義 グループワーク	4 人			
	10/28～10/30		中小企業支援担当者等研修 ビジネスプラン策定の実践術		中小企業大学校関西校	講義 グループワーク	1 人			
<事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載>										
①府施策連携										
②広域連携										
③市町村連携										
④相談相乗										
事業 全 体 の 実 績 ／ 目 標 達 成 度	計画に対する 実績（数値）	総支援企業 数(計画)	866.0	総支援企業 数(実績)	1,038.0	支援 実績率	119.9%	満足率	94.6%	
	目標の達成度 （支援企業を どう変化させる ことができたか）	代表指標	経営指導員の研修に対する満足度、理解度							
		数値目標	75%	実績数値	93.4%	目標達成度	124.5%			
	成果の代表事例	府内中小企業・小規模事業者の多岐にわたる経営支援テーマを捉え、最善の研修を行い、経営指導員の支援レベルの向上に務めた。研修内容についても充実したメニューを揃えたので、満足度・理解度ともに、非常に高い数値であった。特に生成AIやCanva等、業務効率化につながる研修は参加者も多く、当該分野における支援ニーズの必要性を実感でき、ツールの基本的な活用方法や業務への応用イメージについて理解が進み、参加者の知識向上が図られた。								
	その他目標値の実績	目標値 （計画）		目標値 （実績）		目標達成度				
実施 結 果	課題及び次期以降への取組み（実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか）	令和7年度は動画配信を中心に研修を実施した結果、受講人数は計画を大きく上回り、受講機会の拡充につながった。一方で、現地参加者の減少により経営指導員同士の横のつながりが希薄化する傾向が見られた。令和8年度は動画配信を継続しつつ、現地でのグループワーク研修を拡充し、相互の意見交換や関係構築を促進することで、実践的な支援能力の向上を図る予定である。								

事業名		経営指導員OJT事業		事業番号	2	新規/継続	継続																																					
想定する実施期間		令和3	年度～	年度まで		5	年 目	※複数段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること																																				
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか) 企業ニーズ (内容・把握方法等)	「商工会及び商工会議所による小規模事業者の支援に関する法律の一部を改正する法律」（平成26年法律第95号）に伴い、経営指導員としてより専門性の高い支援やスキルアップが求められている。商工会単独では、経営指導員等の経営支援スキル向上を図るOJTは困難である。また、団塊世代の退職が進み、新任経営指導員等の支援スキル向上は急務である。そのため、大阪府内全ての商工会の支援体制向上と経営支援（経営革新、事業承継、DX、人材確保等の支援、法改正の対応支援等）に関する個々の経営指導員の能力向上のためにOJTを実施し、大阪府内の中小企業・小規模事業者の多様化、高度化する様々な経営相談に対応できる人材育成および体制向上を図る。新任経営指導員等OJT対象者のコミュニケーション能力の向上（苦手分野の克服、支援経験の蓄積）、全経営指導員の特定分野の支援能力の向上（高度支援の蓄積）を目的とする。																																										
	支援する対象 (業種・事業所数等)	大阪府内全ての商工会に実施し、結果、大阪府内の中小企業・小規模事業者が支援を享受できる対象となる。																																										
	実施時期・具体的な内容 及び事業手法	4月当初から開始し、前年度の事業の進捗状況の確認を行い、経営相談、創業支援、事業計画作成支援、事業継続計画（BCP）策定支援等を重点支援として実施し、原材料・エネルギー価格の高騰、物流コストの上昇、最低賃金の引き上げや深刻な人手不足など、依然として厳しい経営環境が続いている中小企業・小規模事業者に対しより一層の支援に取り組めるよう、商工会の支援体制の強化に向けた取り組みを推進した。																																										
		<事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載> <table border="1"> <tr> <td>①府施策連携</td> <td colspan="8"></td> </tr> <tr> <td>②広域連携</td> <td colspan="8"></td> </tr> <tr> <td>③市町村連携</td> <td colspan="8"></td> </tr> <tr> <td>④相談相乗</td> <td colspan="8"></td> </tr> </table>									①府施策連携									②広域連携									③市町村連携									④相談相乗						
①府施策連携																																												
②広域連携																																												
③市町村連携																																												
④相談相乗																																												
事業全体の 実績／目標 達成度	計画に対する 実績（数値）	総支援企業 数(計画)	114.0	総支援企業 数(実績)	118.0	支援 実績率	103.5%	満足率	100.0%																																			
	目標の達成度 (支援企業を どう変化させる ことができたか)	代表指標	対象経営指導員の支援スキルが向上した商工会																																									
		数値目標	16	商工会	実績数値	16	商工会	目標達成度	100.0%																																			
	成果の代表事例	事業者への販路開拓支援について、支援スキルが向上し、商工会の経営指導員が、相談者からの経営相談からの販路開拓支援について、具体的に提案ができ、効果的に販路開拓を行うための事業計画作成支援を実施しすることができた。商工会が事業者の経営改善のための支援強化を行うことができた。																																										
	その他目標値の実績	目標値 (計画)		目標値 (実績)		目標達成度																																						
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	先行き不透明な中東情勢等など外部環境の急激な変化等に影響を受ける中小企業・小規模事業者などに対して、経営支援のための情報提供を商工会に逐次行っていくとともに、商工会が生産性向上や価格転嫁などの事業者の課題に対応できるように他機関とも連携し、実施していく。																																										

事業名		商工会等における業務・組織運営の改善支援事業			事業番号	3	新規/継続	継続		
想定する実施期間		令和6年度～	年度まで		2年目	※複数年度段階的実施事業は別紙にて計画を提出すること				
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか) 企業ニーズ (内容・把握方法等)	各商工会等においても人材確保は年々困難になっており、業務における生産性向上は喫緊の課題である。しかしながら、すべての商工会等において、ITの専門知識を持つ職員が必ずしも在籍しているとは限らないため、生産性向上に向けたITの導入が遅れている。そのため、本事業で先行している団体の事例共有や専門家のヒアリングや助言により、業務における生産性向上を目指す。 各商工会において、より事業者支援に取り組める環境整備が求められている。今まで手作業等で時間がかかっていた事務処理等に対して、専門家による①現状把握・課題抽出、②課題解決提案(エクセル活用、システム導入など)といった事務処理等の見直しを図ることで、業務の省力化につなげ、経営指導員が経営相談等の専門性の高い業務に従事する時間をさらに確保することにより、事業者支援の充実を図る。また、抽出された課題のなかで、複数団体で共通する課題については共同処理について検討を行い、更なる業務の省力化につなげ、事業者支援の充実を図る。								
	支援する対象 (業種・事業所数等)	大阪府内全ての商工会等において実施し、結果、大阪府内の中小企業・小規模事業者が支援を享受できる対象となる。								
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	令和6年度の調査内容を踏まえて、本年度は対象テーマを絞って具体的な導入システムと業務の在り方についての検討を進めていった。大阪府商工会等共同処理検討委員会を4回開催し、対象テーマを「一人親方支援業務」並びに「会員管理および処理業務」を検討対象とし、商工会から検討メンバーを出し、専門家にも入ってもらい、テーマ別にプロジェクトチームを形成し、意見収集や現状調査、個別ヒアリングにもとづき、具体的な検討を実施した。その結果、「会員管理および処理業務」に絞り、事業者支援や共同処理の核となる事業者基礎情報や支援項目の整備に着手することとなった。次年度のトライアル実施に向けた導入システムの機能概要を定めていく方向で進めた。 (1) 大阪府商工会等共同処理検討委員会の開催 各商工会内の業務について共同処理につながるものがないかを検討するとともに、その導入方法の検討や点検、評価等を行うために、大阪府商工会等共同処理検討委員会を下記のとおり開催した。 ①第1回委員会(令和7年6月9日開催) ②第2回委員会(令和7年10月23日開催) ③第3回委員会(令和7年12月17日開催) ④第4回委員会(令和8年3月18日開催) (2) 商工会等の業務改善に向けたプロジェクトチームの活動 ①事前調査アンケートの実施、②現場ヒアリング 対象業務および台帳関連の実態調査、各商工会業務フロー提出・商工会差異確認、プロトタイプ用事業者台帳カルテ項目確認等を行った。								
	<事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載>									
	①府施策連携									
②広域連携										
③市町村連携										
④相談相乗										
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	17.0	総支援企業数(実績)	17.0	支援実績率	100.0%	満足率	100.0%	
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	代表指標	業務・組織運営の改善が図れた団体数							
		数値目標	17 商工会等	実績数値	17 商工会等	目標達成度	100.0%			
	成果の代表事例	次年度のトライアル実施に向けた導入システムの機能概要を定めていくなかで、商工会の事業の棚卸をする機会となったという声があり、また、商工会によって業務運営の状況や制約事項が大きく異なることや、各商工会が運用するシステムを包括的に取り込むことは困難であり、共同システムとしては、「共通台帳・カルテシステム」という核の部分の構築するというこで、大阪府内の中小企業・小規模事業者支援強化につながる足がかりとなった。								
	その他目標値の実績	目標値(計画)			目標値(実績)			目標達成度		
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	令和7年度は、商工会業務の現状把握を踏まえて、具体的な共同処理の実施に向けてプロジェクトチームを立ち上げ、システム導入の検討を実施し、次年度にシステム開発と業務移行に向けた議論・決定を行ってきた。令和8年度には共通システム(事業者共通台帳)および具体的な業務システム(カルテシステム)を開発・構築して、共同処理を試験的に実施していく予定であるため、年度当初に検討委員会を開催し、トライアル実施を希望する商工会を募集し、システム開発を進めていく。								

事業名		事業承継支援体制向上事業			事業番号	3	新規/継続	継続	
想定する実施期間		令和7年度～		年度まで		1	年 目	※複数年段階的実施事業は別紙にて計画を提出すること	
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか) 企業ニーズ (内容・把握方法等)	事業承継支援が進み、大阪府の後継者不在率も2016年の72.3%から2024年は47.1%まで改善している。しかし、地域経済を支える事業者の廃業については変わらず問題となっている。そのため、地域住民から必要とされ、存続を求められている事業者や地域産業を担う事業者等が廃業という決断になる前に、事業承継について様々な方策を提示する等、地域支援機関から早期に働きかけていく必要性がある。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	大阪府内の商工会等において本事業を実施した結果、大阪府内の中小企業・小規模事業者が支援を享受できる対象となる。							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	①会議の開催（地域での事業承継支援の再考） 第1回事業承継推進会議 日時：令和7年6月9日（月） 議題：事業承継支援体制について 場所：アークホテル大阪心斎橋 参加者：17 商工会等 19名 第2回事業承継推進会議 日時：令和8年2月10日（火） 議題： ・小規模事業者における事業承継問題と商工会の事業支援 ・大阪府内の事業承継支援について 場所：オンライン開催およびアーカイブ配信 参加者：17商工会等 22名 ②研修の開催 日時：令和7年8月7日（木） 内容： ・経営支援に役立つ施策、支援ツールについて ・事業承継希望の事業者と創業者のマッチングについて ・地域小規模事業者への伴走型支援を通じた事業承継支援の取組みについて 参加者：14商工会等 17名 ③事業承継にかかる専門家の情報提供、紹介 事業承継にかかる様々な相談に対応するために、事業承継の専門家だけでなく、様々な専門家について商工会に情報提供、紹介を行えるよう専門家のリストを整備した。							
		<事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載>							
		①府施策連携							
②広域連携									
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	17.0	総支援企業数(実績)	17.0	支援実績率	100.0%	満足率	100.0%
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	代表指標	事業承継の支援体制の向上が図れた団体数						
		数値目標	17 商工会等	実績数値	17 商工会等	目標達成度	100.0%		
	成果の代表事例	事務局長および事務局責任者対象の会議では、自治体と積極的に連携している団体からの報告により、他団体も自治体との連携について検討する機会となり、自治体に働きかけた団体があった。事業承継支援に関して、規模が小さい商工会での支援事例を共有することで、事業承継支援に対する取り組み方を再考する機会となった。							
	その他目標値の実績	目標値 (計画)		目標値 (実績)		目標達成度			
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	来年度は小規模事業経営支援事業では実施しないが、引き続き、各団体での事業承継支援体制向上に向け、情報提供および事業承継支援事例の共有を事務局長会議等で実施していくとともに、事業承継・引継ぎ支援センターとも商工会の事業承継支援について連携していく。							

事業名		CSR普及啓発事業			事業番号	5	新規/継続	継続
想定する実施期間		2022年度～	2025年度まで	年度まで	6	年目	※複数年段階的実施事業は別紙にて計画を提出すること	
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか) 企業ニーズ (内容・把握方法等)	2011年のISO26000発行や2015年のSDGs採択から約10年が経過し、企業の社会的責任（CSR）に関わる具体的な目標設定がさらに浸透してきました。一方、昨今の社会情勢では、気候変動問題、新型コロナウイルスの長期的影響、そしてウクライナ侵攻を背景としたエネルギー価格の高騰や物価上昇が続き、中小企業への影響が顕著となっています。こうした変化する経営環境の中で、自社のパーパス（存在意義）やCSRをSDGsと結びつける取り組みが、持続可能な経営の鍵を握るようになってきている。 また、企業が直面する人権課題はさらに多様化しており、差別、雇用問題、ジェンダー、多文化共生、メンタルヘルスなどが課題として浮上している。これらの課題への対応には、CSRとSDGsの視点からの取り組みが必要不可欠である。加えて、消費者や取引先の間でSDGsへの認知度や期待が高まり、SDGsに積極的に取り組む企業は事業成果に好影響をもたらしていることが明らかになっている。しかし、中小企業におけるCSR活動の実施率は依然として低い状況である。 2025年においては、商工会などのパートナーシップをさらに強化し、以下の取り組みを進める。 ・ 中小企業へのCSR経営の普及啓発を推進し、持続可能な社会の実現に向けた取り組みを後押しする。 ・ SDGsの具体的な目標を企業活動に反映させ、地域社会や地球規模の課題解決に貢献できる体制を構築する。 ・ 2024年までに蓄積した「ビジネスと人権」「CSRスタートアップマニュアル～新しい”企業価値”を創る一歩目～」などの冊子を活用し、事業者への具体的な支援策を展開する。 これらの取り組みを通じて、中小企業が社会的責任を果たしながら経営を強化し、持続可能な未来に貢献できるよう、商工会等との連携を一層強化してCSR経営の普及啓発推進体制の整備に取り組んでいく。						
	支援する対象 (業種・事業所数等)	府内16商工会・20会議所及び府内事業所469,446社 (令和3年経済センサス活動調査)						
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	CSR経営実態調査および事例集の成果を踏まえ、小規模事業者への普及を含めたCSR経営のさらなる浸透を図るため、各商工会等と連携し、以下のとおり取り組んだ。 ・ これまでのCSR経営モデル支援事業の検証結果を踏まえ、支援マニュアルおよび支援手法の見直し・改善を行いながら、各商工会等と連携し新規モデル企業への支援に取り組んだ。 ・ 過年度の支援先に対しては、CSR基本計画の具体化に向けた実施計画の策定支援およびCSRレポートの作成支援を行った。 ・ 実施計画の策定支援を行った企業に対しては、PDCAサイクルを通じてCSR活動の継続的な発展を図るため、CSRマネジメントシステムの構築支援を実施した。 ・ マネジメントシステム構築支援を実施した企業に対しては、SDGsの視点を踏まえた目標の見直しおよび実施計画の高度化に向けたフォローアップ支援を行った。 ・ モデル支援の実施にあたっては、経営者のニーズに応じ、対面による面談に加え、オンライン、電話、メール等を活用し、柔軟かつ継続的な支援を行った。 ・ CSR経営の普及啓発を推進するため、各商工会等と連携し、CSR経営者リーダー育成研修および地域中小企業を対象としたCSR経営セミナー等を実施した。なお、メンタルヘルスや人権等のテーマについては、CSRの重要要素として統合し、経営全体の視点から理解を促進した。 ・ セミナー等の実施にあたっては、連携先商工会等と調整のうえ、参加者のニーズに応じて集合形式およびオンライン形式を組み合わせ実施した。 ・ 普及啓発については啓発チラシ「CSRは企業発展・成長の源泉・・・企業は社会と共に・・・CSRを理解する」を活用し、実践的なCSR経営の普及と理解促進を図った。 ・ メンタルヘルスセミナーは「持続可能な会社づくりのための健康経営」～健康管理から「健康づくり」へ～や「メンタル不調を未然に防ぐラインケア」を切り口に、メンタルヘルスマネジメントの具体的な取り組み方に力をいれた講座を提供した。（手法は上記のCSR経営セミナー等と同様） ・ 商工会等のCSR並びにメンタルヘルス経営推進職員の育成を図り、各商工会等におけるCSR経営の普及啓発とCSR経営モデル支援の実施の円滑化およびメンタルヘルスの取り組みへの啓発意欲の向上を図った。						

		＜事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載＞							
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	1,064.0	総支援企業数(実績)	1,010.0	支援実績率	94.9%	満足率	97.5%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	代表指標	CSR経営に対する理解度が高まったと回答した割合						
		数値目標	70%	実績数値	96.4%	目標達成度	137.8%		
		成果の代表事例	経営者の高齢化や人材確保の難しさ、原材料費やエネルギー価格の高騰など、中小企業を取り巻く経営環境は引き続き厳しい状況にある。一方で、消費者や取引先におけるSDGsや環境・社会課題への関心の高まりを背景に、CSRの取組を通じて自社の価値向上や競争力強化につなげる動きも広がっている。 また、企業に求められる役割は拡大しており、従業員、取引先、地域社会など多様なステークホルダーとの信頼関係の構築が、持続的な企業経営において重要性を増している。こうした中、CSRやSDGsの視点から自社の事業を見直し、経営に統合する企業が着実に増加している。 例えば、木材加工を行う事業者においては、製造過程で発生する端材や未利用資源を有効活用し、環境負荷の低減と付加価値の創出を両立する取組を進めている。従来は廃棄されていた素材を活かした製品開発に加え、地域住民や来訪者を対象としたワークショップの実施など、ものづくりを通じた体験価値の提供にも取り組んでいる。 さらに、地域資源を活用した商品開発や情報発信を通じて地域の魅力向上に寄与するとともに、観光や交流人口の創出にもつながっている。こうした取組は、地域との関係性強化にとどまらず、企業のブランド価値向上や新たな顧客層の獲得、販路拡大といった経営面での成果にも結びついている。 加えて、CSRの視点を踏まえた取組を通じて、従業員の働きがいや参画意識の向上にもつながるなど、企業内部の好循環も生まれている。 このように、CSRを単なる社会貢献活動としてではなく、経営戦略の一環として捉え、環境配慮、地域貢献、事業成長を同時に実現する企業が増加しており、本事例はその代表的なモデルの一つである。						
実施結果	課題及び次期以降への取組み（実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか）	近年、企業を取り巻く社会的要請は一層高まっており、特に人権配慮や環境対応、ガバナンスの強化などに対する関心が急速に拡大している。また、SNS等の普及により、企業活動が社会に与える影響が可視化されやすくなっており、不祥事等が発生した場合の企業価値への影響も大きくなっている。一方で、CSR、ESG、SDGsといった概念については一定の認知が進んでいるものの、それぞれの関係性や実務への落とし込みについては、中小企業において十分に浸透しているとは言い難い状況にある。 また、日常業務の多忙さや人材不足等により、CSRへの取組が優先順位として後回しになるケースも見られる。今後は、CSRを単なる社会貢献活動としてではなく、人材確保や生産性向上、取引拡大など経営課題の解決につながる取組として位置付け、より実践的かつ分かりやすい支援を行う必要がある。具体的には、これまでに蓄積した支援マニュアルや普及啓発ツールの見直し・改善を進めるとともに、セミナーや個別支援においてCSRと経営課題との関連性を明確に示すことで、事業者の理解促進と取組の具体化を図る。 また、商工会等との連携を一層強化し、地域における普及啓発体制の充実を図ることで、より多くの中小企業へのアプローチを可能とし、CSR経営のさらなる浸透を目指す。							

【別紙】複数の事業目標を設定している場合は、別紙に事業目標毎の実績／達成度をご記入ください。

C S R モデル 支援事業 (基本計画作成支援)	計画に対する 実績(数値)	支援企業 数(計画)	5.0	支援企業 数(実績)	5.0	支援 実績率	100.0%	満足率	100.0%
	目標の達成度 (支援企業を どう変化させる ことができたか)	指標	C S R 実施計画作成企業数						
		数値目標	5社	実績数値	5社	目標達成度	100.0%		
C S R モデル 支援事業 (実施計画作成支援)	計画に対する 実績(数値)	支援企業 数(計画)	5.0	支援企業 数(実績)	5.0	支援 実績率	100.0%	満足率	100.0%
	目標の達成度 (支援企業を どう変化させる ことができたか)	指標	C S R 実施計画作成企業数						
		数値目標	5社	実績数値	5社	目標達成度	100.0%		
C S R モデル 支援事業 (C S R レポート作成支 援)	計画に対する 実績(数値)	支援企業 数(計画)	5.0	支援企業 数(実績)	5.0	支援 実績率	100.0%	満足率	100.0%
	目標の達成度 (支援企業を どう変化させる ことができたか)	指標	C S R レポート作成企業数						
		数値目標	5社	実績数値	5社	目標達成度	100.0%		
C S R モデル 支援事業 (C S R マネジメントシ ステムの構築支援)	計画に対する 実績(数値)	支援企業 数(計画)	5.0	支援企業 数(実績)	5.0	支援 実績率	100.0%	満足率	100.0%
	目標の達成度 (支援企業を どう変化させる ことができたか)	指標	経営統合支援企業数						
		数値目標	5社	実績数値	5社	目標達成度	100.0%		
C S R 経営 フォロー アップ 支援事業	計画に対する 実績(数値)	支援企業 数(計画)	5.0	支援企業 数(実績)	5.0	支援 実績率	100.0%	満足率	100.0%
	目標の達成度 (支援企業を どう変化させる ことができたか)	指標	C S R 経営フォローアップ支援企業数						
		数値目標	5社	実績数値	5社	目標達成度	100.0%		
C S R 経営 育成 者	計画に対する 実績(数値)	支援企業 数(計画)	270.0	支援企業 数(実績)	261.0	支援 実績率	96.7%	満足率	99.2%
	目標の達成度 (支援企業を どう変化させる ことができたか)	指標	研修の内容を理解し地域リーダーとして役立てたいと回答した割合						
		数値目標	70%	実績数値	93.5%	目標達成度	133.6%		
C S R 経営 セ ミ ナ ー	計画に対する 実績(数値)	支援企業 数(計画)	243.0	支援企業 数(実績)	209.5	支援 実績率	86.2%	満足率	97.1%
	目標の達成度 (支援企業を どう変化させる ことができたか)	指標	C S R 経営に対する意識が高まったと回答した割合						
		数値目標	70%	実績数値	97.1%	目標達成度	138.7%		
メン タル ヘル ス セ ミ ナ ー	計画に対する 実績(数値)	支援企業 数(計画)	108.0	支援企業 数(実績)	97.5	支援 実績率	90.3%	満足率	99.0%
	目標の達成度 (支援企業を どう変化させる ことができたか)	指標	メンタルヘルスの取組みへの意欲が高まったと回答した割合						
		数値目標	70%	実績数値	95.9%	目標達成度	137.0%		

CSR経営推進 職員育成研修	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	48.0	支援企業数(実績)	46.0	支援実績率	95.8%	満足率	100.0%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	指標	CSRへの理解度が増し、日頃の経営指導を通じてCSR経営の取組みを啓発する意欲が高ま						
		数値目標	70%	実績数値	100.0%	目標達成度	142.9%		
メンタルヘルス 推進職員育成研修	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	30.0	支援企業数(実績)	33.0	支援実績率	110.0%	満足率	100.0%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	指標	メンタルヘルスへの理解度が増し、日頃の経営指導を通じてメンタルヘルスの取組みを啓発する意欲が高まったと回答した割合						
		数値目標	70%	実績数値	100.0%	目標達成度	142.9%		
CSR経営 普及啓発事業	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	340.0	支援企業数(実績)	338.0	支援実績率	99.4%	満足率	95.3%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	指標	CSR経営のについての理解や関心が高まった割合						
		数値目標	70%	実績数値	97.3%	目標達成度	139.1%		

大阪府商工会連合会

事業名		S B / C B 創出支援事業				事業番号	6	新規/継続	継続																																
想定する実施期間		2020	年度 ～	2025	年度まで	年度ま で	6	年 目	※複数年度段階の実施事業は別紙にて計画を提出すること																																
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか) 企業ニーズ (内容・把握方法等)	企業ニーズ：阪神大震災及び東日本大震災でのボランティア活動やその後の継続的な支援の経験が契機となって、地域や社会の課題解決に取り組む市民・NPO・企業が増え、SB（ソーシャルビジネス）・CB（コミュニティビジネス）への社会の関心も高まってきた。近年では、SDGsの普及により社会課題解決への意識がさらに向上し、企業のあり方にも大きな変革が見られるようになってきている。 課題：SB/CBもビジネスである限りは課題解決の成果と適正な利益、組織としての社会的責任を果たしていく必要があるが、「非営利」（課題解決が使命）に関する誤解がその健全な発展を妨げるという課題もある。また逆に、利益優先の考え方がSB・CBの取り組みについての社会的な信頼を毀損することも危惧されている。 そういった状況の中、地域社会や経済の低下に伴い、結果として課題解決型のビジネスに取り組む事例もさらに増加傾向である。しかし、NPOなど財務面での課題も指摘されており「財務」「非財務」の両輪での成果が今後の大きな課題となっている。 事業目的：アフターコロナや高齢化、物価高騰による地域社会の疲弊を背景に、地域・企業・NPO・行政等の連携が不可欠となり、地域課題の解決を目的とした事業の創出、地域課題の解決に繋がるセミナーや交流会を商工会等との連携やイベントの実施を通じて、地域交流や地域間連携を推進し、社会課題の解決、持続可能な地域社会の発展を目指す。																																							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	府内16商工会・20会議所																																							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	令和7年4月から令和8年3月にかけて、各商工会等と連携し、SB/CB創出・育成支援を実施した。具体的には、経営指導員を対象とした推進職員育成研修を実施するとともに、小規模事業者向けに「必要とされる企業」をテーマとしたSB/CB支援セミナーやNPO育成セミナーを開催した。さらに、ハンドメイドを対象とした創業塾と“やってみたい”を“できる”に変える、実践的ステップアップ講座をテーマにした創業塾により地域貢献型事業の創出を促進し、IT活用講座による実務的な経営力向上支援、チャレンジショップを活用した創業準備支援を行った。また、ブロック単位の交流会や広域視察研修（堺の伝統文化）を通じて事業連携・販路拡大を支援し、単会での交流機会も創出した。加えて、過疎地域支援を目的とした物産展をなんばマルイで実施し販路開拓を推進した。実施にあたっては、集合形式を基本としつつWEBも併用し、参加しやすい環境整備を図った。 <事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載> <table><tr><td>①府施策連携</td><td colspan="7"></td></tr><tr><td>②広域連携</td><td colspan="7">SB/CBに取り組む企業やNPO等は活動領域や地域との関係も多様であるため、広域連携での支援体制を確立していくことが必要である。また、まちづくりや地域の活性化に向けて地域中小企業とSB/CBに取り組む企業やNPO等の交流や連携の推進も重要となっている。</td></tr><tr><td>③市町村連携</td><td colspan="7"></td></tr><tr><td>④相談相乗</td><td colspan="7"></td></tr></table>								①府施策連携								②広域連携	SB/CBに取り組む企業やNPO等は活動領域や地域との関係も多様であるため、広域連携での支援体制を確立していくことが必要である。また、まちづくりや地域の活性化に向けて地域中小企業とSB/CBに取り組む企業やNPO等の交流や連携の推進も重要となっている。							③市町村連携								④相談相乗							
	①府施策連携																																								
②広域連携	SB/CBに取り組む企業やNPO等は活動領域や地域との関係も多様であるため、広域連携での支援体制を確立していくことが必要である。また、まちづくりや地域の活性化に向けて地域中小企業とSB/CBに取り組む企業やNPO等の交流や連携の推進も重要となっている。																																								
③市町村連携																																									
④相談相乗																																									
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	701.0	総支援企業数(実績)	697.5	支援実績率	99.5%	満足率	97.7%																																
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	代表指標	経営意識及び地域貢献意識が高まったと回答した割合																																						
		数値目標	70%	実績数値	98.6%	目標達成度	140.8%																																		
	成果の代表事例	SB/CBブロック交流会においては、地域ビジネスの経営をデザインするデザイナーによる取組報告が行われ、参加事業者から大きな共感が得られた。これにより、地域や社会の課題解決に積極的に取り組もうとする機運が高まったほか、地域・社会課題をキーワードとした連携を希望する参加者も多数見られた。また、社会課題解決をテーマに多様な課題を取り上げたグループワークや交流を実施したことで、業種を問わない事業者間ネットワークの構築に寄与することができた。さらに、経営指導員を対象としたSB/CB推進職員研修では、「ソーシャルビジネス・コミュニティビジネスの推進に向けた考え方・活かし方」について学ぶ機会を提供し、SB/CBに関する理解を一層深めることができた。																																							

実施結果	課題及び次期以降への取組み（実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか）	普及啓発、セミナー、交流会、視察研修等の各種取組を通じて、地域中小企業等におけるSB/CBへの理解および認識を高めることができた。一方で、商工会等との結果共有や日常的な連携を通じた具体的な取組の推進については、引き続きの課題として残っている。また、セミナーや交流会の周知期間の確保、連携先商工会との調整、実施時期および開催時間の再検討についても、改善を重ねていく必要がある。 これらの取組を、事業連携、地域活性化、さらにはまちづくりへとつなげていくため、アンケート結果を踏まえた総括を行うとともに、商工会等が単独で実施する事業とのスケジュール調整を図りながら、事前準備および事後フォローを強化する。併せて、各商工会・商工会議所との連携体制を一層充実させ、効果的な支援の実施につなげていく。
------	--	---

【別紙】複数の事業目標を設定している場合は、別紙に事業目標毎の実績／達成度をご記入ください。

創出支援セミナー SB/CB	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	22.0	支援企業数(実績)	22.0	支援実績率	100.0%	満足率	100.0%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	指標	経営意識または地域貢献意識が高まったと回答した企業の割合						
		数値目標	70%	実績数値	100.0%	目標達成度	142.9%		
事業者交流会 SB/CB	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	50.0	支援企業数(実績)	52.5	支援実績率	105.0%	満足率	100.0%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	指標	経営意識または地域貢献意識が高まったと回答した企業の割合						
		数値目標	70%	実績数値	100.0%	目標達成度	142.9%		
推進職員育成研修 SB/CB	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	48.0	支援企業数(実績)	45.0	支援実績率	93.8%	満足率	100.0%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	指標	経営意識または地域貢献意識が高まったと回答した企業の割合						
		数値目標	70%	実績数値	100.0%	目標達成度	142.9%		
NPO育成セミナー	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	20.0	支援企業数(実績)	14.0	支援実績率	70.0%	満足率	100.0%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	指標	経営意識または地域貢献意識が高まったと回答した企業の割合						
		数値目標	70%	実績数値	100.0%	目標達成度	142.9%		
SB/CB視察研修（参加）	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	36.0	支援企業数(実績)	28.0	支援実績率	77.8%	満足率	100.0%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	指標	経営意識または地域貢献意識が高まったと回答した企業の割合						
		数値目標	70%	実績数値	100.0%	目標達成度	142.9%		
視察研修（受入） SB/CB	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	2.0	支援企業数(実績)	2.0	支援実績率	100.0%	満足率	100.0%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	指標	経営意識または地域貢献意識が高まったと回答した企業の割合						
		数値目標	70%	実績数値	100.0%	目標達成度	142.9%		
創業塾	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	30.0	支援企業数(実績)	31.0	支援実績率	103.3%	満足率	96.8%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	指標	経営意識または地域貢献意識が高まったと回答した企業の割合						
		数値目標	70%	実績数値	100.0%	目標達成度	142.9%		

チャレンジ	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	10.0	支援企業数(実績)	10.0	支援実績率	100.0%	満足率	100.0%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	指標	経営意識または地域貢献意識が高まったと回答した企業の割合						
		数値目標	70%	実績数値	100.0%	目標達成度	142.9%		
IT活用講座	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	20.0	支援企業数(実績)	20.0	支援実績率	100.0%	満足率	100.0%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	指標	経営意識または地域貢献意識が高まったと回答した企業の割合						
		数値目標	70%	実績数値	100.0%	目標達成度	142.9%		
SB/CB事業連	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	325.0	支援企業数(実績)	327.0	支援実績率	100.6%	満足率	95.4%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	指標	経営意識または地域貢献意識が高まったと回答した企業の割合						
		数値目標	70%	実績数値	96.9%	目標達成度	138.5%		
ブロック会/SB/CB交流	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	99.0	支援企業数(実績)	95.0	支援実績率	96.0%	満足率	100.0%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	指標	経営意識または地域貢献意識が高まったと回答した企業の割合						
		数値目標	70%	実績数値	100.0%	目標達成度	142.9%		
ハンドメイド創業塾	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	20.0	支援企業数(実績)	21.0	支援実績率	105.0%	満足率	100.0%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	指標	経営意識または地域貢献意識が高まったと回答した企業の割合						
		数値目標	70%	実績数値	100.0%	目標達成度	142.9%		
SB/CB地域魅力拡大（産展）	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	19.0	支援企業数(実績)	30.0	支援実績率	157.9%	満足率	100.0%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	指標	経営意識または地域貢献意識が高まったと回答した企業の割合						
		数値目標	70%	実績数値	100.0%	目標達成度	142.9%		